

2026 年度大学院入試
(修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題
心理臨床学専攻
(120 分)

＜注意＞

1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
2. この冊子は 6 ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。

2026 年度大学院入試 (修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分

受験番号	
氏名	

問 1. 次の用語の意味を説明せよ。

- (1) 転移性治癒(transference cure)
- (2) メンタライゼーション(mentalization)
- (3) 知恵(wisdom)
- (4) シュテルンの輻輳説(convergence theory developed by William Stern)
- (5) パーソナル・スペース (personal space)
- (6) 社会的比較理論 (theory of social comparison process)
- (7) 精神物理学的測定法(psychophysical methods)
- (8) 運動残効(motion aftereffect)

問 2. 以下の 2 つの問題の中から 1 つを選択し、800 字程度で解答せよ。

- (1) 境界性パーソナリティ障害を含むパーソナリティ障害をいくつか挙げてそれぞれの特徴を説明せよ。また、境界性パーソナリティ障害の心理療法において留意すべき点を挙げよ。
- (2) 行動変容ステージモデルについて、「禁煙」を例に概要を説明せよ。

2026 年度大学院入試 (修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分

受験番号	
氏名	

問 3. 以下の英文の内容を日本語で要約せよ。

For symptoms to be considered ADHD, they must have started before the age of 12. This makes diagnosing adults more complicated, as the process requires creating a timeline of when symptoms first appeared. In addition to talking with his patient, Jaksa finds that it can be helpful to look at old report cards, where comments such as “Struggles to pay attention during class,” “Often forgets homework at home,” or “Isn’t living up to potential” can help give him a sense of when symptoms started appearing.

“We have a much longer history to look at,” he said. “The best diagnostic indicator for ADHD is not test scores; it’s history.” For the diagnostic process, Jaksa conducts a very structured interview—one that delves into their social, emotional, and academic history. If possible, he interviews a family member who can provide perspective on childhood behaviors.

Jaksa said adults often have comorbidities, such as anxiety and depression. With these comorbidities, untreated ADHD can either cause them or make them worse. “When ADHD is not diagnosed—when it’s not treated effectively—over time, chronic stress and frustration lead to anxiety,” Jaksa said. “This has a very negative impact on self-esteem. It’s very common to see adults with ADHD grow up with a strong sense of underachievement.” Continually hearing messages like “try harder” or “you should be doing better,” can get internalized and lead to anxiety and/or depression, Jaksa said.

In some patients, providers may recognize signs right away, such as tardiness, forgetting valuable personal items, or fidgeting while in the waiting room. Although no one symptom can be definitive, all of this added up can paint a picture of what the symptoms look like, how long they have been going on, and the degree of functional impairment. “My mind is shifting constantly,” said Lisa Green, an oncology nurse who was diagnosed with ADHD in her 40s.

It also helps the diagnosis if there is a family history of ADHD, as it is a highly heritable disorder. For Matlen, the process of seeking a diagnosis for her younger daughter was when she realized that she also had the disorder. “It’s pretty well established that ADHD is about 70% to 80% heritable,” said Eugene Arnold, a professor emeritus at The Ohio State University whose research focuses on ADHD.

註: delve into 掘り下げて考える; comorbidity 合併症; tardiness 遅刻、遅延; heritable 遺伝性の;
emeritus 名誉退職した

出典: Fairbank, R. (2023). An ADHD diagnosis in adulthood comes with challenges and benefits: For adults, undiagnosed ADHD symptoms can lead to chronic stress and low self-esteem. *Monitor on Psychology*, 54(2), 52.

2026 年度大学院入試 (修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分 解答用紙

受験番号	
氏名	

問 1.

(1)

(2)

(3)

(4)

2026 年度大学院入試 (修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分 解答用紙

受験番号	
氏名	

問 1(続き).

(5)

(6)

(7)

(8)

専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分 解答用紙

受験番号	
氏名	

[illegible]

2026 年度大学院入試 (修士課程) II 期 (11/15)
専攻科目・外国語科目試験問題 心理臨床学専攻 120 分 解答用紙

受験番号	
氏名	

問 3.

[illegible]

2026 年度 大学院入試(修士課程) II 期

問 1. 次の用語の意味を説明せよ。

(1) 転移性治癒(transference cure)

【解答例】

心理療法において、症状を生み出す葛藤や対人関係のあり方が十分に理解・修正されないまま、治療者への陽性転移に支えられて症状が軽減・消失することをいう。治療者への愛情や理想化、期待に応えたいという願望などが改善に関与する。改善が転移関係に依存しているため、関係の変化や治療の終結に伴って症状が再燃する場合がある。精神分析では、こうした症状改善を葛藤の洞察や徹底操作による変化と区別し、その改善を支える転移の意味を検討する。

【出題意図】

精神分析的心理療法における転移と治療効果の関係について、基本的な知識・理解度を確認する。とくに、転移関係に支えられた症状改善と、葛藤や対人関係のあり方の変化とを区別して説明できるかを評価する。

(2) メンタライゼーション(mentalization)

【解答例】

自己や他者の行動を、感情、欲求、意図、信念などの心的状態との関連から理解する心の働きをいう。意識的な省察だけでなく、自動的・暗黙的な理解も含まれる。他者の心を正確に読み取ることではなく、心的状態は直接には分からず、自分の理解も誤りうることを踏まえて捉える点が重要である。フォナギーらは、その発達を養育者との愛着関係に関連づけ、感情調整や対人関係を支える機能として論じた。強い情動のもとではこの働きが低下することがあり、その回復・促進を目指すメンタライゼーションに基づく治療(MBT)が発展した。

【出題意図】

自己・他者理解に関わるメンタライゼーションの基本概念を理解しているかを確認する。
とくに、心的状態の推測とその不確実性、愛着や感情調整との関連を踏まえ、単なる共感
や他者の心の読み取りと区別して説明できるかを評価する。

(3) 知恵(wisdom)

【解答例】

知恵とは、死を前にしても、人生そのものに対して超越的かつ肯定的な関心を持ち続け
られる精神的境地を指す。エリクソンによれば、人生の最終段階(老年期)において「発達課
題(統合)」の対極に、達成を妨げる「危機(絶望)」をおき、両者の緊張関係において自分の
人生を受け入れた時に獲得される徳として捉える。バルテスは、文脈主義や価値観の相対
化、不確実性の受容などを含む、単なる知識や知能を超えた「人生の複雑な課題に対処し、
本質的な判断を下す高度な成熟能力」として、従来の「加齢=衰退」という固定観念を覆し、
生涯にわたる成長の到達点として研究を深めた。

【出題意図】

生涯発達心理学における基本事項を問うものである。老年期におけるエリクソンの自我
発達理論の理解に加え、バルテスのベルリン知恵研究プロジェクトからの知見についても
述べられていることが望ましい。

(4) シュテルンの輻輳説(convergence theory developed by William Stern)

【解答例】

ドイツの心理学者ウィリアム・シュテルンによって提唱され、人間の心理的発達や行動
が「遺伝(内因)」と「環境(外因)」の双方が合わさる(輻輳する)ことによって形成されると
する理論である。ゲゼルの成熟優位説とワトソンの環境優位説にみられるように、当時の
「遺伝か環境か」という極端な二項対立に終止符を打ち、両方の重要性を認めた点で画期
的であった。しかし現代では、遺伝と環境は独立した要因捉える輻輳説を超え、両者が相

互に影響し合い変化していくとする相互作用説が主流になっている。

【出題意図】

発達心理学史の理解を問うものである。教育や支援に関わる可能性と限界を同時に示したことが転換点となり、現代の相互作用説への架け橋となった考えであるという、生涯発達心理学の土台となったことを理解していることが望ましい。

(5) パーソナル・スペース (personal space)

【解答例】

パーソナル・スペースとは、他者が近づきすぎると不快感や緊張を生じる、個人を取り囲む心理的な空間である。研究では、他者が接近して不快になる距離を測定する方法や、普段保つ対人距離を観察する方法が用いられる。一般に、親しい相手ほど距離は近く、見知らぬ相手ほど遠くなる。また、性別、年齢、文化、状況、混雑度などによって大きさは変化し、円滑な対人関係や社会的相互作用に重要な役割を果たす。さらに、パーソナル・スペースは対人距離の調整というコミュニケーション行動の一側面としてとらえることができる。

【出題意図】

心理学の代表的な概念であり、心理学実験実習でもしばしば扱われる。また、多様な研究方法を用いて検討されてきたテーマであることから、本設問は心理学の基礎概念、研究方法、および代表的知見に関する理解度を評価することを目的としている。

(6) 社会的比較理論 (theory of social comparison process)

【解答例】

社会的比較理論とは、人は客観的な基準が存在しない、あるいは得られにくい場合に、自分の意見や能力を評価するため他者との比較を行うとする理論である。フェスティンガーによって提唱され、自己評価の過程を説明する代表的理論として知られる。人は自身の意見や判断の妥当性を確認するために他者を参照し、自己評価を行う。また、自分より優

れた他者との上方比較は向上への動機づけや劣等感を、自分より劣った他者との下方比較は安心感や自尊感情の維持をもたらすことが知られている。

【出題意図】

社会的比較理論は、自己評価の仕組みを説明する社会心理学の代表的理論である。理論は単純ありながら影響力が大きく、社会心理学の基礎的知識として重要である。そのため、本設問は、理論の基本的内容と代表的知見に関する理解度を評価することを目的としている。

(7) 精神物理学的方法(psychophysical methods)

【解答例】

音の大きさや光の強さといった物理的な刺激と、人間が感じる感覚の体験との関係を数値で調べる測定方法。フェヒナーが体系化した。代表的な手法に、刺激の強さを段階的に変える極限法、ランダムに見せる恒常法、実験参加者自身が調整する調整法の基本3つがある。これらを用いて、絶対閾すなわち人が感知できるギリギリの最小刺激や、弁別閾すなわち違いを区別できる最小の差を測定し、人間の知覚の仕組みを客観的に数値化して調べる。

【出題意図】

実験心理学・知覚心理学の歴史的基盤である物理的刺激と心理的体験の関係(物理量と感覚量の対応)に関する専門知識の理解度を問う。基本3法(極限法・恒常法・調整法)や絶対閾・弁別閾といった基本的概念を正確に把握し、人間の感覚・知覚特性を客観的・数値的に測定・評価する方法論について論述できるかを評価する。

(8) 運動残効(motion aftereffect)

【解答例】

一定方向に動き続けるものをしばらく見つめた後、静止した物体を見ると、それまでと逆方向に動いているように見える錯覚現象のこと。滝の錯視が有名で、流れ落ちる滝を見

続けた後に近くの岩肌を見ると、岩が上に向かって動いて見える。これは、特定の動きに反応する脳の神経細胞が長時間刺激されて疲れることで、反対方向を感じる神経の働きが相対的に強まるために起こる。人間の知覚が刺激にどう順応するかを示す基本的な現象である。

【出題意図】

知覚心理学・認知神経科学における視覚・知覚メカニズムの基礎的理解を問う。順応(適応)や神経細胞の疲労・疲弊による抑制の解除といった生理的・心理的仕組みについて正確に説明できるか、また人間の知覚システムが環境の変化に柔軟に適応するプロセスとして錯覚現象を捉えられているかを評価する。

問 2. 以下の 2 つの問題の中から 1 つを選択し、800 字程度で解答せよ。

- (1) 境界性パーソナリティ障害を含むパーソナリティ障害をいくつか挙げてそれぞれの特徴を説明せよ。また、境界性パーソナリティ障害の心理療法において留意すべき点を挙げよ。

【解答例】

パーソナリティ障害とは、認知、感情、対人関係、衝動のコントロールなどにおいて、その人の属する文化から著しく偏った持続的なパターンがみられ、それが広範な状況で認められ、本人の苦痛や社会生活上の機能障害をもたらすものである。

代表的なものとして、境界性パーソナリティ障害は、対人関係、自己像、感情の不安定さと著しい衝動性を特徴とする。見捨てられることへの強い不安をもち、他者を理想化したり価値を低く評価したりするなど、対人関係が不安定になりやすい。また、自傷・自殺関連行動、強い怒り、慢性的な空虚感などがみられることがある。自己愛性パーソナリティ障害は、誇大的な自己評価、賞賛への強い欲求、共感性の乏しさなどを特徴とする一方、自己評価が他者からの評価に左右され、批判や失敗に傷つきやすい側面もある。妄想性パ

パーソナリティ障害は、他者への広範な不信や猜疑心を特徴とし、十分な根拠がなくても他者の動機や言動を悪意のあるものとして解釈しやすい。回避性パーソナリティ障害は、否定的評価や拒絶への強い不安や過敏さがあり、対人関係を求めながらも、傷つくことを恐れて社会的場面や親密な関係を回避する傾向がある。

境界性パーソナリティ障害の心理療法では、まず安定した治療構造を設定し、一貫した治療関係を形成・維持することが重要である。見捨てられ不安や理想化とこき下ろしなどの対人関係の特徴が治療関係にも現れやすいため、治療者はクライアントの感情を受容しつつ、面接時間や連絡方法などの治療の枠組みと境界を適切に維持する必要がある。また、自傷・自殺関連行動のリスクを継続的にアセスメントし、安全確保を優先するとともに、必要に応じて精神科医療や他職種と連携する。さらに、治療関係では強い転移・逆転移が生じることがあるため、治療者自身の感情反応を吟味し、過度に救済的あるいは拒絶的にならないよう留意する。スーパーヴィジョンやケースカンファレンスを活用しながら、長期的かつ一貫した治療関係を維持することも重要である。

【解答のポイント】

パーソナリティ障害の特徴

【A 群：奇異・風変わりな特徴】

- ・ **妄想性**：他者への広範な不信・猜疑心、他者の動機を悪意のあるものと解釈する傾向、恨みを抱き続ける傾向
- ・ **シゾイド**：社会的関係からの離脱、親密な対人関係への関心の乏しさ、孤独な活動を好む傾向、感情表出の限定
- ・ **統合失調型**：親密な対人関係の困難、認知・知覚の歪み、奇異な信念や魔術的思考、風変わりな行動・話し方

【B 群：演技的・感情的・移り気な特徴】

- ・ **反社会性**：他者の権利の軽視・侵害、虚偽、衝動性、攻撃性、無責任さ、良心の呵責の乏

しさ

- ・ **境界性**：対人関係・自己像・感情の不安定さ、衝動性、見捨てられ不安、自傷・自殺関連行動、慢性的な空虚感、強い怒りなど
- ・ **演技性**：過度な情動性、他者からの注目を求める傾向、感情の劇的な表現、他者の影響を受けやすい傾向
- ・ **自己愛性**：誇大性、賞賛への欲求、特権意識、共感性の乏しさ、他者からの評価への敏感さ

【C群：不安・恐れを特徴とする】

- ・ **回避性**：否定的評価や拒絶への過敏さ、社会的抑制、自己評価の低さ、対人関係への欲求と回避
- ・ **依存性**：他者から世話を受けることへの強い欲求、分離への不安、服従的傾向、自己決定の困難
- ・ **強迫性**：秩序、完全主義、規則や細部へのこだわり、統制への過度のこだわり、柔軟性の乏しさ

境界性パーソナリティ障害への心理療法

- ・ 治療構造・治療の枠を明確にする
- ・ 安定した一貫性のある治療関係を形成する
- ・ 見捨てられ不安や理想化・こき下ろしなど、治療関係に現れる対人関係パターンを理解する
- ・ 転移・逆転移に注意し、治療者自身の感情反応を吟味する
- ・ 過度な救済や拒絶などの極端な対応を避け、適切な治療的境界を維持する
- ・ 治療者の抱え込みを避け、スーパーヴィジョンやケースカンファレンスを活用する
- ・ 自傷・自殺リスクを適切にアセスメントし、安全確保を優先する
- ・ 必要に応じて精神科医や他職種・他機関と連携する

(2) 行動変容ステージモデルについて、「禁煙」を例に概要を説明せよ。

【解答例】

行動変容ステージモデルは、プロチャスカ(Prochaska)とディクレメンテ(DiClemente)らが提唱した多理論統合モデル(transtheoretical model)の中心的な考え方であり、健康に関する行動の変化を、本人の準備性に応じたいくつかの段階として捉える。一般に、前熟考期(無関心期)、熟考期(関心期)、準備期、実行期、維持期の5段階に区分される。

禁煙を例にすると、前熟考期は、喫煙による問題を十分に認識していない、あるいは当面は禁煙する意思がない段階である。熟考期は、喫煙の不利益を意識し、禁煙を考えてはいるものの、まだ実行を決めていない段階である。準備期は、近いうちに禁煙を始める意思があり、禁煙開始日を決める、周囲に伝える、禁煙補助薬について調べるなど、具体的な準備を進めている段階である。実行期は、実際に喫煙を中止し、吸いたくなったときの対処や生活環境の調整に取り組んでいる段階である。維持期は、禁煙行動を一定期間継続し、再喫煙を防ぐための対処を続けている段階である。

行動変容は必ずしも一方向に進むとは限らず、再喫煙によって以前の段階に戻ったり、再び禁煙に取り組んだりすることがある。そのため、再発を単なる失敗とみなすのではなく、循環的または螺旋的な変化の過程の一部として捉える。また、支援では、禁煙の意思がない人に直ちに実行を迫るのではなく、前熟考期には情報提供や気づきの促進、熟考期には利点と不利益の整理、準備期には具体的な計画、実行期と維持期には対処技能や再発予防というように、各段階に応じた働きかけを行うことが重要である。

【出題意図】

行動変容ステージモデルの基本的な段階を理解し、それぞれを禁煙という具体的な行動に対応させて説明できるかを確認する。段階名を列挙するだけでなく、禁煙への意思、準備、実際の行動、継続という観点から各段階の違いを示せるかを評価する。また、行動変容を直線的な過程とみなさず、再喫煙や段階の後退も起こり得ること、本人の準備性に合

わせて支援方法を変える必要があることを理解しているかをみる。

問 3. 以下の英文の内容を日本語で要約せよ。

For symptoms to be considered ADHD, they must have started before the age of 12. This makes diagnosing adults more complicated, as the process requires creating a timeline of when symptoms first appeared. In addition to talking with his patient, Jaksa finds that it can be helpful to look at old report cards, where comments such as “Struggles to pay attention during class,” “Often forgets homework at home,” or “Isn’t living up to potential” can help give him a sense of when symptoms started appearing.

“We have a much longer history to look at,” he said. “The best diagnostic indicator for ADHD is not test scores; it’s history.” For the diagnostic process, Jaksa conducts a very structured interview—one that delves into their social, emotional, and academic history. If possible, he interviews a family member who can provide perspective on childhood behaviors.

Jaksa said adults often have comorbidities, such as anxiety and depression. With these comorbidities, untreated ADHD can either cause them or make them worse. “When ADHD is not diagnosed—when it’s not treated effectively—over time, chronic stress and frustration lead to anxiety,” Jaksa said. “This has a very negative impact on self-esteem. It’s very common to see adults with ADHD grow up with a strong sense of underachievement.” Continually hearing messages like “try harder” or “you should be doing better,” can get internalized and lead to anxiety and/or depression, Jaksa said.

In some patients, providers may recognize signs right away, such as tardiness, forgetting valuable personal items, or fidgeting while in the waiting room. Although no one symptom can be definitive, all of this added up can paint a picture of what the symptoms look like, how long they have been going on, and the degree of functional

impairment. “My mind is shifting constantly,” said Lisa Green, an oncology nurse who was diagnosed with ADHD in her 40s.

It also helps the diagnosis if there is a family history of ADHD, as it is a highly heritable disorder. For Matlen, the process of seeking a diagnosis for her younger daughter was when she realized that she also had the disorder. “It’s pretty well established that ADHD is about 70% to 80% heritable,” said Eugene Arnold, a professor emeritus at The Ohio State University whose research focuses on ADHD.

註: delve into 掘り下げて考える; comorbidity 合併症; tardiness 遅刻、遅延; heritable 遺伝性の; emeritus 名誉退職した

出典: Fairbank, R. (2023). An ADHD diagnosis in adulthood comes with challenges and benefits:

For adults, undiagnosed ADHD symptoms can lead to chronic stress and low self-esteem. *Monitor on Psychology*, 54(2), 52.

【解答例】

ADHD と診断される必須条件として、症状が 12 歳より前に発症している必要がある。そのため、成人の診断においては症状が初めて現れた時期のタイムラインを遡って判断しなければならず、小児期と比較して複雑なプロセスとなる。専門家は、現在のテストの点数よりも患者の長期的な「過去の経歴」を最良の診断指標として重視する。具体的には、学業・社会・感情面における過去の経歴を深く掘り下げる構造化面接を実施する。さらに、過去の通知表に記された「授業に集中できない」「宿題を忘れる」「能力を発揮しきれていない」といった所見を確認したり、小児期の行動を客観的に証言できる家族に面接を行ったりすることで、症状の発生時期を特定する。

成人の患者は、不安症やうつ病といった合併症状を抱えていることが多い。未診断のまま効果的な治療を受けられずにいると、合併症状や悪化を招く。周囲から「もっと努力しろ」「もっとうまくできるはずだ」という言葉を絶えず掛けられることで、患者はそれを内

面化してしまう。その結果、慢性的なストレスやフラストレーションが蓄積して不安が生じ、成績不振や達成不全を抱えながら成長するため、自尊心に極めて否定的な影響を及ぼす。

診察時における患者の遅刻、貴重品の置き忘れ、待合室での落ち着きのなさなどの日常的な兆候も重要なサインとなる。単一の症状で確定診断が下されることはないが、これらを総合的に評価することで、症状の全体像や継続期間、機能障害の程度が明らかになる。

ADHD は 70～80%という非常に高い遺伝性を持つとされており、家族歴の有無も重要な診断材料となる。子どもの診断手続きを進める過程で、親自身が自らも同じ障害を抱えていることに気づくケースも多い。

【出題意図】

「心理学分野の英文抄録や論文を読んだ際に、論理構造を正確に解釈して研究に活かせる基礎学力があるか」を試す問題。本文の細部における論理的な記述を正確に判別する詳細読解力を問う。